



もっと知りたい  
ちっごの課題

# 常任委員会報告

提出された議案を  
くわしく審査!

## 新規の「空き家条例の制定について」議論

### 総務文教委員会

委員会では、条例制定3件、補正予算1件、工事請負契約の締結、指定管理者の指定について審査し、全て全員賛成にて原案可決した。

筑後市空き家等の適正管理に関する条例制定について、委員より「行政代執行措置もとののか」との質問に「空き家の適正管理を指導、勧告することに主眼を置いた条例である」と答弁があった。筑後市への「地域の元気臨時交付金ほどの程度か」との質問に「平成24年3月時点で補正した公共事業などが計算基礎となるが1億9000万円ほどである」と答弁があった。

### 建設経済委員会

委員会では、一般会計補正予算、下水道事業特別会計補正予算、船小屋駅西側駐車場の指定管理者の指定について審査し、全議案とも全員賛成で可決した。

### 市民の森テニスコート

補正予算について、平成26年度から30年度までの市民の森テニスコートの指定管理者募集に対して1団体が応募した。当該団体が辞退したため、債務負担行為を廃止するものとの説明があった。委員より「来年度は直営ということだが、30年度までに指定管理者を募集することはあるのか。辞

コミュニティ無線の個別受信機の設置について委員より「600個の受信機の配布先は」との質問に「行政区役員、民生児童委員などを考えている」との答弁があった。

### 水田校区コミュニティ協議会が指定管理者に

水田コミュニティセンターの指定管理について、委員より「この団体になった経緯と理由を」との質問に「指定管理者事業とコミュニティ事業



水田校区コミュニティ協議会

の会計は明確に区分されるため、混同の恐れはない。市より補助金を受けている団体でも管理者となりえる。市民との協働ということでも今後もある」との答弁があった。委員会として指定管理者の指定についてその補足資料に疑義を生じる記載が多く見られたため、運用基準等作成し客観性の向上を図ること等の付帯意見が全員一致で採択された。

退した団体に対し、ペナルティを科すことはできないのか。今後このようなことがあつては困る」との質問に対し「27年度以降は、直営と指定管理者での運営の両方を検討していく。仮協定を結んでいけば、ペナルティを科すことができるが、今回の場合、書面での契約が何もされていないので、できない」との答弁があった。

### 筑後船小屋駅周辺

### 駐車場の管理は

船小屋西側駐車場の指



指定管理者辞退があった  
市民の森テニスコート

定管理者の指定について、委員より「駅前広場駐車場の契約との相違点は」という質問に対し、「駅前広場は、JR九州の関連会社の駅レンタカー九州が運営をしている。西側駐車場は、市営駐車場として指定管理者（駅レンタカー九州）に3月から運営管理をさせる。利用金額は、同額で利用できるように協議を進めている」との答弁があった。

### 厚生委員会

委員会では、一般会計補正予算ほか4議案を審査、全議案とも可決した。

### 保育士の待遇改善

### 市も努力を

私立保育所への委託料として、275万円の増額補正が提案された。

市より「施設はあるが、保育士を雇用できないことで、園児の受け入れができない園がある」との説明があった。委員より「措置費の中で人件費は確保されている。雇用できないのは人件費が安いのではないか。市も保育士の待遇改善にはできる限り関与すべきだ」との意見が出された。



大きく変わる子育て支援  
保育士の待遇改善も急務

私立保育所の監査権は、県の業務であったが法律改正で市に移管されている。「今後は市の権限の範囲で関与していく」と答弁があった。

また「子ども・子育て支援新制度」により、平成27年度から子育て支援の形が大きく変わる予定であり、そのための新たな業務にも対応するため、26年度当初からシステム構築などの準備に取りかかりたいと説明があった。

### 横並びでなく筑後市 独自の計画を

高齢者福祉計画策定のための委託料として350万円の補正予算が提案された。

「業者委託では筑後市の特色は出ない。市職員の手でできないのか」との質問に対し「計画は1年かけて策定する。委託は市民アンケートなどの部分で、施策等細かな部分については、職員と2015年の福祉を考える委員会等で決定していく」と答弁があった。

### オーバーホールで 延命

消防はしご車のオーバーホール（点検費）として3100万円の債務負担行為が提案された。

市のはしご車は18年前に購入されているが、新車を購入するには2億円近くの費用が必要となる。耐用年数は17年とされているが、5年ごとのオーバーホールを行うことで経費を抑え、より長く使用したいとの説明があった。



購入後18年が経過する消防はしご車